

令和5年度 神代中学校 家庭科 3学年 年間指導計画・評価計画

1. 教科目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

(2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。

(3) 自分と家族、家庭生活と地域との関りを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

2. 評価の観点及びその趣旨

【知識・技能】

家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともにそれらに係る技能を身に付けている。

【思考・判断・表現】

これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。

【主体的に学習に取り組む態度】

家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

3. 3学年の目標

- ① 家庭や家族の機能、家庭生活と地域とのかかわりを知り、家族関係をよりよくする工夫を考えることができる。
- ② 幼児の発達と生活、家族の役割や遊びについて理解する。また、幼児の生活に役立つ物の製作を通して、幼児との関わり方を考えることができる。
- ③ 3年間の学習を振り返り、将来への展望につなげようと思えることができる。

4. 指導計画・評価計画

観点・評価規準					
月	指導内容	【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】	評価場面(方法)
4	【ともに生きるわたしたち】(1時間)			・多くの人との関わりの中で成長してきたことに気づく。	・授業に対する取り組み ・プリント
5	【わたしたちの成長と家族】(12時間)	①幼児の遊びの意義について理解することができる。	①用事の心身の発達に応じた遊びや遊び道具、遊び方について考え、工夫する。	①自分の成長と家族と家庭生活とのかかわりについて、関心を持って学習活動に取り組もうとしている。	・授業に対する取り組み ・プリント
6	(2)幼児の生活と遊びを知ろう	①幼児の幼児の心身の発達に応じたおもちゃの制作ができる。		②幼児に関心を持ち、幼児の観察や手作りおもちゃの製作に取り組もうとする。	・自己評価表 ・制作記録表 ・作品 ・定期テスト
7	・遊びで育つ能力 ・フェルトを使った手作りおもちゃの制作			③幼児の遊びや遊び道具、遊びと発達のかかわりについて考えようとする。	
9	(3)幼児の心身の発達の特徴を知ろう	①幼児の心身の発達について理解している。②幼児の発達を支える家族の役割について理解する。③自分の生活や設定場面を通して、家族関係をよりよくする方法を考え、実践できる。	①幼児が生活習慣を身につけるのを助ける工夫を考えられる。	①幼児の個性に関心を持ち、一般的な心身の発達の特徴を知ろうとしている。	・授業に対する取り組み ・プリント ・自己評価表 ・定期テスト ・小テスト
10	・体、心の発達				
11	・情緒、社会性、ことばの発達				
12	・基本的生活習慣と社会的生活習慣				
1	(4)子どもにとっての家族を考えよう				
2	【これからのわたしと家族】(3.5時間)	①家庭生活と地域社会とのつながりを理解している。	これからの自分と家族のかかわりに関心を持ち、家族関係をよりよくしようと工夫している。	・家族とのかかわりや子どものための権利、法律などに関心を持ち、家族関係をよりよくするためにはどうしたらよいかを考えようとしている。	・授業に対する取り組み ・プリント ・自己評価表 ・小テスト
3	(1)中学生と家族のかかわり (2)これからの家族とのかかわり	②家庭生活が地域の人々とのつながりの中で成り立っていることを説明できる。			
	【これからの自分と家族の関わり】(1時間)			・衣食住や家族の生活などについて関心をもち、これからの生活を展望して家庭生活をよりよくするために進んで実践しようとする。	・授業に対する取り組み ・プリント ・自己評価表
	・3年間の学習を振り返り将来への展望につなげよう				

|